

Hyoki2Python V0.1 説明書

共通テスト用プログラム表記 → Python 変換ツール / 大学入試センター「令和7年度試作問題『情報』の概要」5. 共通テスト用プログラム表記の例示 に対応

1. 使い方

- ① ブラウザで `hyoki2python.html` を開く。インストール不要で、通信も行いません。
- ② 左側の枠に、共通テスト用プログラム表記のコードを貼り付ける。問題冊子の行番号 (1)・(1) は付いたままで構いません。
- ③ 配列の添字を「0から」「1から」で切り替える。問題文の添字が1から始まるときは「1から」を選びます。
- ④ 右側に Python が表示されます。[Python をコピー] で写して、実行環境に貼り付けてください。

2. 変換できる表記

表記	Python	表記	Python
もし ~ ならば:	<code>if ~:</code>	表示する()	<code>print()</code>
そうでなくもし ~ ならば:	<code>elif ~:</code>	要素数()	<code>len()</code>
そうでなければ:	<code>else:</code>	整数()	<code>int()</code>
~ の間繰り返す:	<code>while ~:</code>	最大値() / 最小値()	<code>max() / min()</code>
i を a から b まで c ずつ増やしながら繰り返す:	<code>for i in range(a, b+1, c):</code>	乱数()	<code>random (自動定義)</code>
÷ / %	<code>// / %</code>	【外部からの入力】	<code>int(input())</code>
≤ / ≥ / ≠	<code><= / >= / !=</code>	【整数を入力】	<code>int(input())</code>
<code>Data[2, 4]</code>	<code>Data[2][4]</code>	【文字列を入力】	<code>input()</code>
a = 1 , b = 2 (1行に複数文)	2行に分けて出力	【小数を入力】	<code>float(input())</code>

不等号は ≤ ≥ のほか Unicode の異体字 (U+2264・U+2265) でも認識します。全角の記号 (+ - * < > = ,) や全角数字もそのまま使えます。折り返された 表示する() は自動で1つの `print( )` にまとめます。

3. 制御範囲 (字下げ) の書き方

行頭の | と L (半角の | | L でも可) で入れ子の深さを表します。記号の代わりに半角スペースやタブによる字下げでも判定できます。行番号の直後の空白1個は区切りとして扱い、それ以降を字下げとみなします。

(01) i を 1 から 3 まで 1 ずつ増やしながら繰り返す:	<code>for i in range(1, 4):</code>
(02) もし A[i] > 0 ならば:	<code>→ if A[i] > 0:</code>
(03) L 表示する(A[i])	<code>print(A[i])</code>

4. 使うときの注意

配列の添字	「1から」を選ぶと、各配列の先頭に <code>None</code> を追加し、要素数() も自動で補正します。問題文の添字の数字をそのまま使える形になります。
省略記号	問題冊子で …… と省略された配列は、そのままでは実行できません。警告を表示し、実行するとその箇所では停止します。省略部分を実際の値に置き換えてください。
空欄	A・I などの空欄は変換できません。正答を埋めてから貼り付けてください。
未変換の行	変換できなかった行は # [未変換] として残ります。画面の警告欄と併せて確認してください。